

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果と回答について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見募集期間 2021年11月25日（木）～2021年12月9日（木）
- (2) 公表資料の閲覧方法
 - ア 市ホームページで閲覧
 - イ 文書閲覧
 - (ア) 教育総務課
 - (イ) 各振興局地域振興課
- (3) 意見提出者数 34人（64件）

2 意見の概要と意見に対する考え方・回答

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
1. 計画（案）全体について		
1	小中学校適正規模・適正配置の考え方について、実体験からも賛成です。少しでも早く適正規模の環境下で学校生活を送れるようにしてほしいと思います。	子どもたちにとって、より良い教育環境とするための集団規模の確保と教育内容・方法のさらなる充実をめざしています。 保護者、地域の皆様にご理解いただけるよう計画を丁寧に進めていきたいと考えています。
2	小学校統合は賛成です。小学校時代に、集団生活の中で多くの経験をすることが重要だと思います。	
3	激減する児童数を見て、中竹野小学校、竹野南小学校の状況も聞くと、統合はあるべき方向だと感じています。 先日、中竹野小学校と竹野南小学校、竹野小学校との3校合同の授業を見学しましたが、子どもたちが、「どの授業でも、いつもより出来る事の範囲が広がった。いつもより断然楽しい！」という感想	

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>を述べていました。竹野小学校側の児童も同じような感想を述べている子が多かった印象を受けました。</p> <p>統合により、今までより通学に時間がかかる点は大変ですが、それ以上に、児童数が今よりも増えることで子どもたちが社会性や多様性を身に付けられることは大変有意義だと思います。</p> <p>児童数がある程度あった方が意欲的に取り組めるものが多いと思います。</p>	
4	<p>複式学級で学ぶよりクラスメイトがたくさんいる中で学ぶ方が子どもたちにとっていい事だと思いますので、通学の負担を最小限にして、いい学びのできる環境を整えてほしい。</p>	
5	<p>小学校は各地区の核となる存在であり、大きい小学校への統合を急ぐのは現時点では反対です。各地区の特色ある取組や支援等を受けながら市が掲げる「ふるさと教育」を丁寧に推し進めないと過疎化に拍車がかかります。</p> <p>小学校のあり方は地域と密接だと思います。また、子ども一人一人の課題に丁寧に向き合うには、多人数のクラスにするのは危険だと思います。</p>	<p>今回の計画では、複式学級の解消や同級生がわずか数名といった小規模校の教育課題の解消・軽減を最優先としています。また、同級生が極端に少ないという状況は保護者の不安が大きく、他の校区への転居の原因としても危惧しています。</p> <p>これらの状況について、地域の皆様にご理解をいただきながら、計画を丁寧に進めていきたいと考えています。</p> <p>また、統合後においても、教員の統合加配等の制度も活用しながら、子ども一人一人の課題について丁寧に向き合うことに努めていきたいと考えています。</p>
6	<p>子どもの学習スタイルや、保護者の教育方針に沿った学校選びが公立の学校でもできるようにしてほしい。小規模校が合うと思う人たちも、理由を付けずに校区を超えて通学できるようにしてほしい。小規模校の教育には、それだけの良さがあります。</p> <p>段階的に統廃合しても、クラス替えもできない規模でしかないの</p>	<p>家庭の事情や教育的な配慮を要する場合には、一定の基準はありますが、現在でも校区外への就学を可能としています。基準を撤廃したうえでの自由な学校選択制度は、85%が小規模校である本市にはなじまないものと考えます。</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>なら、これまで通り小小連携を充実させて、それぞれの地域に特化した学びをしてほしい。統廃合有りきではなく、学校を残す方法を検討する余地も与えてほしい。</p>	<p>小規模校には小規模校の良さがあるということはその通りですが、同級生がわずか数名であるなど、集団での学習や運動、行事等に支障が生じる程度にまで学校の小規模化が進むと、課題の方が大きくなっていくと考えています。</p> <p>小小連携については、授業の進捗状況の調整や移動に時間を要する等の課題もあり、現在の実施回数以上に行うことは難しい状況にあります。</p> <p>したがって、年に数回のみ的小小連携ではなく、ある程度の集団規模で日常的に過ごすことができる教育環境を整備することが必要であると考えています。</p>
7	<p>計画を策定するにあたって再編される学校の保護者や子どもたちにアンケートをとることが必要と考えます。当事者である子どもの意見を聞くのは、子どもの権利条約12条（意見表明権）にも書かれています。</p>	<p>アンケートを実施する場合には、教育課題や子どもたちにとって学校はどうあるべきか等についてある程度ご理解をいただいたうえで進める必要があると考えています。また、既にPTAや地域で主体的にアンケート調査を実施され、意見の共有を行っていただいている校区もあります。</p> <p>また、子どもへのアンケートについては、不安とならないよう、より慎重に行う必要があると考えています。いずれにしましても、今後、校區別説明会等を実施する中で、それぞれの地区に合わせた方法で意見交換や意見の取りまとめを行う必要があると考えています。</p>
8	<p>この計画案には、子どもたちの姿が見えてきません。小規模校どうしの交流などの取組をしながら、育った地域で学校運営をして欲しいと思います。</p>	<p>この計画は、子どもたちのことを第一義として考えたものであり、今後訪れる多様な社会の中で生き抜くために必要な能力をより効果的に身につけるため、ある程度の集団規模の中で学ぶことがで</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
		<p>きる教育環境を整備することを目的としています。</p> <p>また、学校再編にあたっては、地域でどのような子どもたちを育てたいのかを共有し、地域の皆様との協働による学校づくりをめざしたいと考えています。</p> <p>小規模校同士の交流については、既に小小連携教育として取り組んでいます。</p>
2. 個別の学校再編（案）について		
9	<p>優先順位としてまず中学校を統合するべきです。クラス数も多くなり、部活の選択肢も増え、可能なら教員の小学校への配置転換もできるのではないのでしょうか。</p>	<p>今回の計画では、複式学級の解消や同級生がわずか数名といった小規模校の教育課題の解消・軽減を最優先としています。</p> <p>中学校の再編については、小学校の複式学級の解消後の段階としていますが、保護者、地域の皆様のご意見をお聞きしながら検討していきたいと考えています。</p>
10	<p>なぜ統合後の学校の位置が城崎中学校・城崎小学校なのでしょう。もっと未来を見据えたうえで、地域の活性化と少子化の過疎過密の問題解決を含んだ計画を立てるべきと考えます。</p> <p>豊岡市教育ブランドとなるようなものを計画目標とするべきです。小中一貫校にし、学習内容・部活動に野外活動・ホッケー・スケート・カヌー・カヤック・自然科学・海洋科学その他、地元の特化した独自の内容を教育に取り入れ、全国的に注目されるような教育旗艦校とする。それにより、子育て家庭を支える地域づくりをめざすことで過疎過密問題も解決に向かうのではないのでしょうか。</p>	<p>具体的なお提案ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見については、今後、計画を進めていくうえでの参考とさせていただきます。</p>
11	<p>子どもが少ない現状にあり、来年竹野の3小学校が統合となり、新校舎を移転する場所は竹野中学校と同じ場所が望ましい。スクールバスが出入りしても竹野中学校の場所なら広い駐車場もあり、子</p>	<p>子どもたちにとって、より良い教育環境とするための集団規模の確保と教育内容・方法のさらなる充実とをめざしています。</p> <p>保護者、地域の皆様にご理解いただけるよう計画を丁寧に進めて</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	どもたちも安全だと思います。	いきたいと考えています。
12	竹野地域で小中学校を今後同じ場所にするのは、災害のこと、少子高齢化のことを考えるといいことだと思います。海が近いので学校は少しでも高い場所が安心します。今の場所は交通量も多くて気になります。	
13	小中一貫教育のメリットはよくわかります。施設が一緒なら、なお良いとも思います。	
14	<p>・竹野小中学校施設一体型小中一貫校への再編について</p> <p>施設一体型小中一貫校のメリット・デメリットに関して十分な検討がされているのでしょうか。想定されるメリットを効果的なものにするための具体的な方法(例:教職員の研修や専門職の配置など)を提示することや、デメリットを事前に想定し、対処法を提示することが必要だと思います。</p> <p>再編がいいことばかりではないのは、住民側もわかっているので、いいことも悪いことも透明性を持って、説明・議論することが大事だと思います。</p> <p>再編場所は、現在の竹野小学校を竹野中学校の敷地内に併設することですが、他の案・敷地について十分に検討されているのでしょうか。コスト面、教育面、地域に与える影響などを考慮し、他の選択肢との比較も必要であると考えます。</p>	<p>施設一体型小中一貫校への再編に関しては、文部科学省の資料や他市の先進事例や実績等を踏まえて検討しています。</p> <p>また、地域ならではの課題等もありますので、今後、地域の皆様との意見交換等が出された疑問点等についても、整理をしながら対応方法について検討していく必要があると考えています。</p> <p>竹野中学校の敷地内に併設する案については、竹野中学校の有効活用、小中一貫教育をより実効性のあるものにする事等からも適切であると考えています。子どもたちや保護者、地域に与える影響は最小限に、効果については最大限にできるよう、今後も地域の皆様と協議していきたいと思っております。</p>
15	施設一体型小中一貫校にすることで教育効果は得られると思います。しかし、費用対効果で考えると、学校新設に投資する費用とそれに伴う教育効果とでは、釣り合わないと考えます。	施設一体型小中一貫校とする計画(案)の竹野地域と但東地域については、通学距離等の課題もあり、これ以上の再編については困難な状況にあります。

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
		<p>その中で、特に竹野小学校については、施設の老朽化により、新たな施設整備が必要となっています。</p> <p>さらには今後も少子化が進む中で、児童と生徒が同じ空間で過ごし、多様な意見に触れられる環境を確保するためには、施設一体型小中一貫校とすることが有効であると考えています。</p> <p>費用対効果の面についても、中学校の空き教室を活用することにより、経費の削減が可能であると考えています。</p>
16	<p>説明会では、2025年度に、現竹野中学校の空き教室に5、6年生が入り、渡り廊下で繋ぐ校舎を建設し、1～4年生が入るという説明でした。これが小中一貫教育なのでしょうか。先輩後輩の意識もなくなり、緊張感もなくなりそうな気がします。中1ギャップは解消されますが、先輩の気持ちはどうでしょうか。</p>	<p>竹野地域の児童数・生徒数は、今後も減少は避けられないものと考えています。その中で、施設一体型小中一貫校では、仮に学年の人数が少なくなったとしても、小学校1年生から中学校3年生まで、ある一定の集団規模の中で多様な人間関係を作ることができます。</p>
17	<p>今の竹野中学校の生徒数と建物の大きさはあっていないと思いますので、現竹野中学校へ小学校を移転し、小中一貫校とすることは、有効活用の面からすると可能だと思います。その一方で、授業時間も違う学年が同一建物で大丈夫かという不安もあります。</p> <p>現竹野中学校へ小学校を移すとしても、新しい体育館は必要だと思います。</p>	<p>さらに施設一体型小中一貫校の最大のメリットは、4・3・2制等柔軟なカリキュラム（教育内容）の編成と中学校の教員による小学校への乗り入れ授業等、様々な教育効果が得られることです。</p> <p>その他のメリットとして、① 上級生は下級生が増えることにより、見本を示そうとする姿勢が芽生える、② 下級生は上級生の頑張る姿をみることで、あこがれや尊敬の念を覚える、③ 学年の区分ごとに役割を設定することで責任感を育むことができる、等とされています。</p>
18	<p>竹野小学校の移転場所は、竹野中学校下あたりが良い。同じ敷地内に建てるのは受験を迎える3年生を思えば距離をあけるべきと考えます。</p>	
19	<p>竹野小学校の場所は、現在の場所にして欲しい。理由としては、地域住民との関りを大切にしたい。現在の場所は、通学時に地域の方々に見守っていただきながら安全に学校に通えています。</p>	<p>授業時間の違い等については、ノーチャイム制の導入や教室移動時の動線の調整等により、影響は少ないものと考えています。</p> <p>新しく設ける校舎については、現中学校の校舎を有効利用しながら</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>さらに小中学校が隣接するとなると授業の時間帯が違うので騒がしく、中学生は勉強に集中できないのではないのでしょうか。また逆に小学生はのびのびと過ごすことが出来ないのではないかと考えます。</p> <p>体育館も小中学校共有だと噂で聞きました。大変不便になると思います。以上の点を考えるとやはり小学校と中学校が一緒になるというのは厳しいのではないかと思います。</p>	<p>ら、小学生のための教育環境として必要な機能の整備について検討します。</p> <p>また、学校の位置が変わった場合でも、地域の皆様に見守り活動等についても引き続きご支援をお願いしたいと考えています。</p> <p>その他、不安な点や課題等につきましては、子どもたちにとってより良い教育環境となるよう、地域の皆様と共に検討していきたいと考えています。</p>
20	<p>・竹野小中一貫校について</p> <p>町の中心にある小学校が中学の場所に移ると地域の見守りがうすくなる気がします。</p> <p>プールが中学校にないため、プール授業をどうするか考える必要があります。</p> <p>統合したら行事等もどのようにするのでしょうか。</p> <p>難しい問題でも、もっと時間をかけて、幅広い年代に意見をもらい、少しでも良い方向になるように話し合う必要があります。短期間で決められることではないと思います。</p>	
21	<p>静修小学校の統合は2024年ではなく、2023年統合で計画を修正できないのでしょうか。子どものことを考えると早く統合してほしい。</p>	<p>答申説明会の時点までは、学校ごとの再編の時期を明確にしていまらなかったが、最短であれば2023年度に統合が可能であるとの説明を行ってきました。</p> <p>これを、市の計画とするにあたって、保護者や地域の皆様との十分な話し合いをする期間を設けたスケジュールとしています。</p> <p>保護者と地域の上承が得られ、少しでも早くという意向であれ</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
		ば、計画とは別に進めさせていただきます。
22	<p>出石地域の小学校再編について、中学校は1校であり、小学校も1校にすれば標準規模校になります。計画案には将来を見据えての検討としか書かれていないので、「出石で小学校は1校に」という意見を具体的に今回の計画に入れていただきたい。</p>	<p>今回の計画では、まずは複式学級の解消や同級生がわずか数名といった小規模校の教育課題の解消・軽減を最優先としています。</p> <p>現に複式学級のある寺坂小学校や近い将来に複式学級の編成が予測される小野小学校の再編を最優先に進めたいと考えていますが、出石地域で小学校を1校にとのご意見が多数ありましたので、計画の後期段階で出石地域全体での小学校の再編を検討するよう計画を修正し、再編スケジュールに明記します。</p>
23	<p>小坂小学校の立地（洪水の危険性）に不安あることや、統合してもクラス替えできない規模であることから、小野小学校と小坂小学校の統合に反対します。</p> <p>出石で小学校をひとつにする方向でも考えていただいているのでしょうか。小坂小学校と統合してもクラス替えできるほどの児童は集まらないことはわかっているはずですが。</p> <p>いつかは一つにすることが分かっているはずであり、小坂小学校への統合ありきではなくて、そういうことも考えてほしい。</p>	<p>1校に再編する場合、学校の場所、教育内容、各々の地域性などの課題があり、その対応として各校区との協議や調整に時間を要するものと考えます。保護者や地域の皆様のご意見をお聞きしながら、より良い方向を導き出したいと考えています。</p>
24	<p>出石地域において、小規模校でも学校によっては存続する方向での検討も必要だと思います。将来、著しく児童数が減ってくる予想もあることから、統合を検討していくことは必要であると考えますが、現在の案にある、寺坂小学校と福住小学校の統合、小野小学校と小坂小学校の統合だけでなく、出石全体の将来を見据えてもっと議論すべきだと思います。</p> <p>説明では2027年には、すでに出石町の小学生全体が326人となり、1学年あたり44～72人とほぼ2クラスに収まる人数となります。その後も、人数は減少傾向であることは明らかであるので、仮に統合を進めるのであれば、何度も負担のかかる統合を繰り返すのではなく、全ての学校が平等に対等に1校への統合を進めるこ</p>	<p>洪水時の危険性について懸念いただいておりますが、気象警報発令時等は、学校を休校にしたり、登校している場合は、子どもたちを早期に帰宅させるか、避難を終えられるように配慮しています。</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>とで、長期的にみて、地域感情や財政的な負担が抑えられると考えます。</p> <p>統合する際の場所の案としては、まずは2クラス分の教室がある弘道小学校を利用し、その後、新校舎の検討もしていったらどうでしょうか。</p>	
3. 計画の進め方について		
25	<p>計画案説明会の地域住民への周知方法は極めて限定的で、地域住民との議論を避けているように感じられます。広報と同封・防災無線・地域の回覧などできめ細やかな周知が必要です。</p> <p>パブリックコメントの意見募集期間が極端に短期間であり、大切な事柄を決定しようとする姿勢に不信感、隠蔽体質、行政と住民との大きな情報の格差を感じます。</p>	<p>今回の計画(案)説明会を含め、これまでの4回にわたる説明会、意見交換会では、限定的にならないよう全ての市の広報に合わせてチラシの全戸配布、学校・園を通じての保護者への配布、各地区の区長・コミュニティ等へのお知らせ、防災行政無線での放送、市のホームページ等により周知に努めてきました。</p>
26	<p>先日の説明会の参加者を見ると、高齢の方が多かった。子育て世代へのアプローチができているのでしょうか。学校の問題は非常に大切な問題であるので、より若い世代に興味を持ってもらえるように広報する必要があると思います。</p>	<p>パブリックコメントについては、これまでの説明会で実施する旨をお知らせし、防災行政無線での放送等により周知を行いました。また、実施期間についても市の他のパブリックコメントと同様に2週間の期間を設けました。</p>
27	<p>出石地域における説明会の参加者に弘道小学校区の保護者、福住小学校区の保護者があまり見られなかったように感じましたが、現時点では、この計画案について当事者校以外の方には関心度が低いように感じられました。</p> <p>もっと出石地域全体の課題として興味を持ってもらうように呼び掛けて議論する必要があると思います。</p>	<p>今後の計画の推進にあたって、未就学児の保護者を含め、少しでも多くの方々に関心を持っていただけるよう、周知方法を工夫していきたいと考えています。</p>
28	<p>港地区では、すでに昨年統合となりましたが、統合に関しての議</p>	<p>校区からの要望を受けての旧港東小学校と旧港西小学校の統合</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>論が閉鎖的で不透明な印象で、議論の過程を随時報告することなく結果のみを書面で知らされ、疑念を抱いた住民が大多数でした。そのような前例があるため、同じ様なこととならないようしっかりした周知が必要です。</p>	<p>は、各区の区長様にご尽力いただき地区内での協議を経て進めてきました。統合準備委員会での協議内容について、「統合準備委員会だより」を発行し、学校園を通じて保護者への配布、地区回覧、市のホームページへの掲載等により、周知に努めていたところです。</p> <p>今後の計画の推進にあたって、多くの方々に関心を持っていただけるよう、周知方法を工夫していきたいと考えています。</p>
29	<p>説明会は、豊岡地域1ヶ所のみで、これでは市民に説明したとはいいがたいと思います。説明会の日程も平日の夜は、保護者は子どもの世話で参加しづらいと聞きます。考慮してください。</p>	<p>市民説明会は平日夜間の開催であり、参加しにくい保護者がおられたことは申し訳ありませんでした。</p> <p>今後、説明会の要望をいただければ、曜日や時間を調整のうえ、説明会を開催するよう配慮いたします。</p>
30	<p>竹野小学校の建替え位置について、2020年1月の意見交換会では、竹野中学校敷地へ移転したうえでの小中一貫校と、現位置での建て替えの2つの案が示されました。今回の計画案では、竹野中学校敷地への移転案のみとされています。建替え位置の最終決定に向けて、今後、地域との調整はどのように行われるのでしょうか。</p>	<p>竹野小学校の老朽化に伴う建替えの必要性についての説明会を、2019年12月に竹野小学校の保護者向け、翌年1月には竹野地区住民向けにそれぞれ開催しました。</p> <p>この説明会では、竹野中学校の敷地内に小学校の校舎を設け、施設一体型小中一貫校とする案のほか、現在地での小学校単独の建替え案についても示していましたが、その中で、「今後、学校再編が進むのであれば、竹野小学校の位置についても竹野地域全体の事を考えたうえで提案するべき」というご意見をいただきました。</p>
31	<p>竹野小学校の再編では、現在の竹野中学校に移転し小中一貫校として発足されるようになっていますが、私の記憶が間違いなければどの案になるか解らないとのことでした。</p> <p>他の案が廃案になった経緯の説明が必要です。</p>	<p>また、竹野小学校の老朽化とは別の「子どもたちの教育環境」に視点を置いて、昨年2月に豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会を設置し、小中学校のあり方を審議いただき、</p> <p>① 竹野の3つの小学校、中学校とも、さらに小規模化が進むこと</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
		<p>② 竹野地域に小学校・中学校とも1つは存続させる必要があると考えること</p> <p>③ 施設一体型小中一貫校とすることで、小学校1年生から中学校3年生まで9年間を通じてのカリキュラム構成や中学校教員の小学校への乗り入れ指導等、竹野独自の特色のある教育を行うことができること</p> <p>等の意見から、答申では、竹野地域の学校のあり方を考えた時に、小学校単独よりも、施設一体型小中一貫校とすることが望ましいものとしてまとめられました。</p> <p>以上のことは、審議会の中間報告説明会において説明しました。</p> <p>この答申を尊重し、また、これまで行ってきた説明会で出された意見を踏まえたうえで、市教育委員会の計画としてまとめたものが、今回お示しをしている計画案です。</p> <p>今後、開催する予定の説明会では、これらの経緯を丁寧に説明し、理解を得ながら進められるよう努めてまいりたいと考えています。</p>
32	<p>竹野地域の施設一体型小中一貫校のスケジュールについて、2025年度を目安に計画していくとのことですが、地域内での議論や工事なども含めると時間は不十分だと想定されます。地域と行政などのこまめな話し合いが必要だと思いますので、期限を厳守する必要があるのか疑問です。</p> <p>これから何度住民との話し合いがされるのかは不明ですが、2、3回一方的な説明会や形式だけの意見交換会で決めること、期限を</p>	<p>子どもたちにとってより良い教育環境の早期実現に向けて、目標に向けて進めていきたいと考えています。</p> <p>一方、地域の方々との協議や意見交換については、理解を得ながら丁寧に進めていく必要があります。</p> <p>今後開催する説明会・意見交換会では、少しでも多くの方々にお集まりいただき、より良い方向性について一緒に考えてまいります。</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>元に多数決で決めるというのは、問題の火種になるのでやめていただきたい。</p>	
33	<p>適正化の必要性は理解できるものの、以下の点についても十分な対策を示しながら、子どもたち・保護者・地域住民との十分な意思疎通のもと協議を行っていただきたい。</p> <p>少人数・複式学級は、全国的問題であり、その全てを適正化と称して統廃合を行うことが国の将来にとって何を意味するのかまで、考察しての計画が必要と考えます。</p> <p>適正化と称して学校の統廃合を進めた場合、影響を受けるのは、子どもたちと保護者であり、学校が統廃合となることによる課題は、対策が明確でないばかりか、規則や基準ばかりを重要視するあまりに、本質的な問題への対応を求めることが間違いのように扱われています。大きな変革を求めるなら、過去の規則や基準ではなく、現代の現実に即した対応が求められます。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>いずれにしましても、将来の子どもたちにとってどのような教育環境を整えるべきかを第一に考えた計画としています。</p>
34	<p>一定の基準を設け、それに達した小中学校の統廃合は市主導のもとに進めていくべきです。教育に関係のない意見等が多く地域主導ではスムーズに事を進めることは困難に感じます。</p>	<p>学校の直接の受益者である子どもたちのことを第一に考え、保護者の意見を尊重しながら進めていきたいと考えています。</p>
35	<p>協議の進め方について、保護者の意向が最優先とされていますが、保護者の中でも意見が分かれていると思います。今を否定しているのではなく、未来（これからの子どもたちの学習環境を整えること）を考えるとという視点を共有できるようにしていただきたいです。</p> <p>在校生の保護者だけでなく、未就学児の保護者も加え、規模の大きい学校や再編後に使用する校舎をもつ学校に合わせるような形</p>	<p>学校再編の協議にあたっては、未就学児の保護者にも積極的に関わっていただき、統合する両校が「一緒になってよかった」と感じていただけるよう、お互いの意見を尊重しながら、協議を進めていきたいと考えています。</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	ではなく、対等な立場で協議しお互いが当事者意識を持てるように進めていただきたい。	
36	<p>古来より小学校は、地域の拠点です。できるだけ多くの地域住民が理解、納得出来るように、丁寧な説明が必要です。</p> <p>個人的には小坂小学校への統合は反対です。</p>	<p>小学校は地域の拠点であるとのことのご意見についてはその通りであると考えています。そのうえで、子どもたちにとって、より良い教育環境を整備するため、できるだけ多くの皆様にご理解を得られるよう、地域の皆様と対話を重ねながら一緒に考えてまいります。</p>
4. 配慮すべき事項について		
37	<p>統合されて通学時間が概ね1時間以内と言われますが、子どもにとっても保護者にとっても大きな負担です。</p>	<p>今回の計画では、原則、旧市町域内での再編としており、通学に1時間を要する地区はないものと考えています。</p> <p>ご指摘のとおり、通学時間が長くなればなるほど、子どもたちや保護者の負担となることから、安全性を確保したうえで、通学時間の短縮について検討することとしています。</p>
38	<p>竹野小学校が移転した場合の通学路についての整備計画を同時に検討していただきたい。</p>	<p>学校再編により、通学路についても変更が生じてきます。</p> <p>子どもたちの集合場所や、学校までの順路等については、学校や保護者、地域の皆様で、見守り体制等も含めてご検討いただくこととなります。</p> <p>その中で、問題点等があれば、関係機関と連携を図りながら、解消に努めていきます。</p>
39	<p>児童生徒への配慮として教員の統合加配制度の活用が挙げられていましたが、放課後児童クラブも統合する場合は同様の配慮をお願いします。</p> <p>福住小学校と寺坂小学校の統合であれば、送迎や生活リズムに関する負担は少ないと思いますので、福住放課後児童クラブに統合</p>	<p>放課後児童クラブについては、人員の確保が困難な状況であるため、統合を理由とする支援員の加配は考えていません。</p> <p>統合元の放課後児童クラブの支援員を統合先の放課後児童クラブに配置することについては、一定の配慮は必要と考えますが、放課後児童クラブ全体の状況等を見て検討していきたいと考えます。</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>してもいいと思いますが、児童クラブで子どもが過ごす時間は長いので、寺坂放課後児童クラブの指導員の先生を配置していただけると親子ともに安心です。</p>	
<p>5. 跡地利用について</p>		
40	<p>現状、学校は地域の避難所となっていますが、地域から学校が消えるとなると、避難所をどのように担保されるのかを明確にされていません。この計画であれば、港地区は豊岡市が責任をもって管理される避難施設が皆無となるため、港地区の住民は自分の身は自分で守れ、というように感じられます。同じ豊岡市であるのに格差を感じます。</p>	<p>学校は、児童・生徒への教育的機能が第一ですが、コミュニティ活動や地域活動を支える中心的な施設としての機能も担っていることから、跡地の利活用については、早期に検討を始める必要があると考えています。</p> <p>学校跡地の利活用については、地域の意向、ニーズに配慮したうえで、第一に市が必要とする機能の確保を、第二に公共的な団体等による事業の必要性を検討します。それらの活用策が見いだせない場合には、第三として民間の独創性、専門性や企画力を活かし、地域の活性化につながる活用を模索していきます。</p>
41	<p>学校は、地域にとっては唯一の公共施設であり、施設としての重要性ばかりか、地域振興の基盤です。このことに対する対策が見えません。</p>	<p>これらの活用策の検討は、地域と協議・調整を図りながら進めていきます。</p> <p>なお、活用策が決まるまでの間は、引き続き地域での利用ができるよう配慮します。</p>
42	<p>竹野小学校は、現在は津波避難所、大雨の際の避難所として指定されています。竹野小学校が、小中一貫校として竹野中学校敷地に移転した場合、竹野地区で最も人口の多い場所に、避難所がない状態となります。仮に竹野中学校へ移転したとして、竹野小学校を避難施設として使用できる可能性はあるのでしょうか。</p>	<p>学校跡地の活用方法が決まるまで、統合に賛成できないとのご意見もありますが、跡地の利活用方針の決定には、ある程度の時間を要することが考えられます。</p> <p>学校の小規模化のさらなる進行を防ぐことや課題解消への早期対応を図るためにも、学校再編についてのご理解をいただきますよ</p>
43	<p>竹野小学校の跡地について、地域への影響も考慮に入れる必要があります。竹野小学校は竹野浜地区のまちなかに位置するため、誰にも使われず廃墟のようになれば地域へのイメージの悪化が想定されます。仮に事業者や地域で活用する場合は、移転する前にどう活用するか決めてからの方がいいと思います。その前に移転する</p>	<p>学校跡地の活用方法が決まるまで、統合に賛成できないとのご意見もありますが、跡地の利活用方針の決定には、ある程度の時間を要することが考えられます。</p> <p>学校の小規模化のさらなる進行を防ぐことや課題解消への早期対応を図るためにも、学校再編についてのご理解をいただきますよ</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	と活用方法について先延ばしになり、廃墟問題につながると考えます。また、竹野小学校は現在避難場所として指定されているので、防災の点からも検討する必要があります。	うお願いいたします。
44	本計画には、廃校した施設の活用方法が提示されていません。竹野小学校は、住宅街の中心に位置しており、地域の社交場としての役割も担っています。廃校した施設を民間企業に買収され地元住民の社交の場が失われることがあれば、地域コミュニティの衰退に繋がると考えます。したがって、本計画の一部に、廃校した施設の活用方法を取り入れ、新設・改修・活用それぞれ三位一体で検討していただくよう希望します。	
45	小中一貫校については賛成です。しかし、竹野小学校が移設した場合の活用方法が明記されていないのが気になります。跡地の活用方法が、地域の為に活用できない可能性があれば、小学校の移設は賛同できない為、小学校の移設と跡地の活用方法は同時に検討していただきたい。	
46	竹野小学校が移転するのであれば、跡地の活用方法が子どもたちの憩いの場であることを希望します。跡地の活用方法も計画に組み込んでいただければと思います。	
47	竹野小学校が現在の中学校に移転すると、移転した後の跡地はどうなるのでしょうか。空き地となってしまうなら現在の場所のままであってほしいと思います。	
48	現在の小学校跡地の具体的利用方法、市の災害避難場所の指定をされている小学校の代替防災避難場所の設置場所及び建設計画を	

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	住民及び保護者に対し説明をし、担保しなければならないと思いません。	
49	<p>昔の竹野中学校の跡地が、あれだけあるのもったいないのではないのでしょうか。</p> <p>また、現在の竹野小学校の校舎ですが、老朽化が進んでいるが、壊して更地のまま放置ということにならないように、避難所や、スポーツジム、公園などにしていきたい。</p>	
50	<p>竹野小学校の跡地については、校舎は耐震状態により、維持していきたい。コミュニティやB&Gの代わりになる施設として利用できるありがたい。</p> <p>これからまた子どもがどんどん少なくなりますので、より良い環境で過ごせますよう、よろしくお願いします。</p>	
51	<p>今後、竹野小学校が移転するとしたら跡地をぜひ公園や町民の集まれる場所として有効に使えることを願います。小さい子が遊べるよう、竹野には少ない公園などを希望します。</p>	
52	<p>現在の竹野小学校がなくなることで、大切な避難場所がひとつなくなることになります。</p> <p>竹野にはただでさえ公園らしいものがないのに、子どもが遊べるところが減るのは困ります。</p>	
53	<p>学校の規模を適正化され、より教育の充実を図られるのはおおむね賛成しています。それよりも、竹野地区の住民が不安に思うことは、竹野小学校の移転です。海が近く、津波の襲来を受けた場合、竹野小学校ではなくどこに避難したらよいのでしょうか。周辺の住</p>	

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>民が安心して避難できる場所の確保なしでは移転に賛同ができません。また、竹野地区には子どもたちが安心して遊べる公園がなく子どもたちが安心して遊べる場として残してほしいと強く要望します。</p>	
54	<p>竹野小学校の移転に反対はしませんが、跡地の有効活用を希望します。使用できる体育館が少なくなってくるので、体育館の建設を希望します。</p>	
55	<p>できれば竹野小学校はそのまま現在地で建ててほしいが、それが無理な場合は、跡地を子どもが遊べる施設や大人でも子どもでも運動ができるような場所として活用してほしい。</p>	
56	<p>現在、竹野小学校は浜地区の避難所となっている為、移転する際は避難場所の整備をしていただきたい。浜が近く津波も考えられ、高台が必要だと思います。高齢者も多く近場に高台が必要と感じます。また、現在の小学校は、子どもたちの遊び場としても活用されており、その点もふまえて現小学校の有効活用を望みます。</p>	
57	<p>竹野町は公園がありません。竹野小学校は、町の中心という感じで集まりやすい。竹野小学校が移転しても、避難場所、公園等そのままの形で利用を希望します。</p>	
58	<p>小学校を壊すことになれば大切な地域の避難場所が1つなくなってしまいます。</p> <p>中学校に隣接された場合、小学校の敷地は、例えば公園や、人が来て貰えるような観光施設を作って活用してほしい。プールも有効活用していただきたい。竹野には子どもの遊び場がありません。</p>	

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
59	<p>竹野小学校がもし移転するとなると跡地はどうなるのでしょうか。更地にするだけでは無く、ぜひ有効活用していただきたい。子どもたちも小学校が移転するとなると放課後や休日に遊べる場所が無くなってしまいます。ぜひ子どもたちが安心して遊ぶことの出来る空間を確保していただきたい。また、プールも修繕してまだまだ使える状況なのでそれも何らかの形で利用できないかと思えます。</p>	
60	<p>竹野小学校を移転した場合、跡地に公園を作っていただきたい。幅広い年齢が遊べる場所がなく、竹野に移住してきた時に公園を探したのですが1つもなかったことがとても残念でした。</p>	
61	<p>今の竹野小学校は、耐久性がないから壊されると思いますが、避難場所として建て直してほしい。老人が中学校、コミュニティまで歩くのは無理があると思います。</p> <p>遊具のある子どもたちが遊べる場所としても利用させてほしい。</p>	
62	<p>今の竹野小学校の場所の活用、新しいプールの活用がとても気になります。</p> <p>地域の避難所としての機能を備えた施設ができるのか、B&Gの代わりに体育館を作るのか、地域の方や子どもたちが集まれる場所になるのか、など。</p> <p>そこがあやふやだと、今の場所に小学校を建て直せばよいのではないかと思います。</p>	
6. その他		
63	<p>子どもたちが豊岡に生まれ育ち将来豊岡に住み続けたいと思え</p>	<p>そのように努めてまいります。</p>

NO	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>るような教育環境を作ってほしいと思います。</p>	
64	<p>統廃合問題は教育問題だけの問題ではなく、社会問題であるとの観点から、行政責任としての対応を強く求めます。</p>	<p>ご指摘のとおり、教育委員会だけではなく他の関連部署等や地域の皆様のご協力もいただきながら、社会問題として様々な視点から検討・対応していく必要があると考えています。</p>